

三月朔日山越ノ軍ハ諏訪
 着陣ス就重田土ノ中
 甲州ニ望向ラル同日ハ諏訪
 着陣ス石尾連ハ角田軍
 タリ
 同言諏訪ハミヤセウシテ一
 隊ヲ以テ留守タラシム因ニ各
 小隊ハ此ニ合セテ一ト小隊ナリ
 哨礮務ニ充テ甲府ニ向フ
 同三日因土ノ軍ハ諏訪ヲ出陣ス

因ハ重役ニ士ハ萬木驛ニ名付ケ
 同四ノ半ニ臺原土半ハ並
 崎ニ宿付ル少シニ座ノ前
 哨隊甲兩ニ着々而テ城家
 徒藤駱河智ニ應接セラレテ城
 ヲ獲テ驛河智後ニ退ク此ヨリ
 先キ府城ハ重動ナリヲ探索セ
 シルニ彼ノ番吉寺法川氏ヲ援
 ケテ帰順セハ且會兵ラレテ日ニ三
 五人城ハ取ルノ役ヲ終ルニ柴田

物等寸魁告タルノ聞アルニ由テ
又城ノ後ヲ速ニス
此日賊兵大ニ保割ナル者其兵
凡百七拾餘ヲ率テ猿橋ヨリ
甲府ニ向テ又府城ノ番士内應
セントス足田春一郎が公狀ニ依テ明
カナリ
此夜前哨隊悉く賊ス然ルニ道遠
クモテ夜明ルニ達テ軍ヲ帰ス
佐々藤駿河も脱走シテ在離散ス

同者。因土ノ軍甲城ニ遠ク
 死傷ノ六員ヲ賊置ス
 同者。定案結去砲隊指揮
 やお長六洲小隊司令谷神
 六洲小笠原謙吉各其部
 率テ勝沼ニ向フ候隊中賊六
 破シテ各級及ニ降砲并ニ茶
 小銃十餘口ヲ獲タリ各其部
 以テ軍ニ破白小川彌太郎被創
 テリ此日固ニ拳軍勝沼向ニ土軍

0128

八斤候ヲ除、外ニ市川止リ共
 市川止リ共、又足田、赤一郎
 五郎、山子ヲ獲タリ、又足田、赤一郎
 會人、大崎、仕込、多ク捕、侍、井
 おち、街、の、秋、鹿、鹿、と、助、に、因、に、還
 六、獲、に、知、り、寸、ら、状、書、に、し、り、参
 同、七、大、崎、の、仕、込、ヲ、斬、ラ、其、多、ク、衆、ス
 同、八、市、川、及、ヒ、捕、ヲ、真、田、氏、に、付、ス
 同、九、土、軍、市、川、ヲ、獲、ス、其、火、に、為、ス

後ニスルカ、又戸ニ米穀ヲ出ツ
 同十百支所ハ王子ニ着陣ル迄兵
 喰ニ順違ヲ以テス帰任ス多ク
 邑果ハ所謂ハ王子ノ千人同心ナル
 モナリ
 此驛^備軍中^中戒ノ遺置セシ兵
 及軍馬等ヲ日野ノ郷ニ獲タリ
 人員モ少ク^二得^ニス
 同十四日内藤新盛・三木陣々
 取。攻陣ノ期^{浪ナレハナリ}ハ夜海

0130

送軍ヨリ期日延伸いふ命アリ
 同十八尾安家市々各郷
 移陣ス
 少軍初ノ甲一府ニ在ル時吉田ノ
 浪士亦多ク集メテ吟詠スニ大ツ家
 フリテス然レモ
 朝廷敢テ此心ナキ者ニ改テ
 海軍ヲ煽ムカスルニ非ス
 死地ナリ
 念ヲ決心セハ
 信玄ノ墓ニ前ニ
 撫フヘシト云フ

レテ 目、日 盟書ハ 別ニ 記ス	亦ニ 通 示 以上	三 月 杓 杓 杓 杓	可 成	一 小 銃 拾 二 挺	一 施 條 砲 一 挺	但 澤 系 生	一 大 小 刀 二 腰
-------------------------	------------------	--------------------	------------	--------------------	--------------------	----------------	--------------------

一討取 四人

一人 池田七三郎
一人 加賀具
一人 姓久米明

大勝沼我年一多市一多系

討取者一多系如死

難有物拾多昇

多肉

一日駕以龍 二昇

但難物入

大砲什身陣一 二昇

陸軍省

0133

陸軍部

一長持 五昇

小銃入 きりり

病院雑物入 きりり

大小諸雑具入 きりり

銃鎗入 きりり

羽・箱 きりり

一運搬具 二昇

六・外

一廿束裏 三

一鴛管 六・

0134

一 伏火炮 テウ	一 條砲 照尺 ニ	一 端燭 箱 テウ	一 小銃 テウ	一 土る庄駒飼 ニ おテ獲 テ	一 針銃拾九挺	一 但銃槍拾七挺 附名弾 カ	一 三格	一 尋常銃 三挺	一 三挺
-------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------	---	---------	-------------------------------	------	-------------------------	------

陸軍省

0135

陸軍

一 英國銃 六挺

一 夕ス 三

一 鞍馬 寺延

古日野驛 二 おテ獲ル家如計

古通内陸等 一 百廿五町遠

法等以上

土砂

三月 板垣退助